

## 令和2年度大学院合同FD

### 2024年以降の新たな大学院教育について考える—ファーストステップ

日時：令和3年2月24日（水） 16:45–18:00 オンライン

本年度の山口県立大学研究創作「大学院教育開発枠」で行った「デジタル革命による社会変化を見据えた未来の大学院に向けた基盤づくり—ID(Instructional Design)に基づくブレンド型eラーニング大学院教育の枠組みの検討」の研究成果について情報共有を行い、次世代の大学院教育について考えます。

#### 【主旨】

大学院生が一度も大学に通学することなく学位を取得する。通信制の大学・大学院ではスクーリングが必要であるが、通常の大学院ではそれさえ必要ない。欧米での先進的な実践を踏まえ、国立大学法人熊本大学大学院社会文化科学教授システム学専攻においてインターネット型大学院が開設され10年になる。ICTを活用した教授法の開発は様々なされてきており、本学においてもグローバル事業をきっかけにICT活用への理解が進んだ。しかしながら、同時進行型（同期型）の遠隔会議授業（zoomやteamsなど）を用いず、すべてを非同時進行型（非同期型・オンデマンド型）でe-learningを通して実現するには、周到な科目配置と授業デザイン力が求められる。大学院教育の質保証を行いながら遠隔授業で自律的に学ぶ方式は、現在の新型コロナウイルス対応後の次世代の大学院教育の方向性を示すものとして注目されている。今回は最先端の大学院教育を地方で展開している事例に着目し、ブレンド型学習等を本学研究科で活用する方策について検討する。

#### 【報告】

- ・ FD開催の挨拶（吉村耕一）
- ・ 「ブレンド型学習を用いた大学院教育の可能性—コロナウイルス感染症に伴う遠隔授業の事後調査分析から—」（進藤優子・人見英里）
- ・ 「インストラクショナルデザイン研修での学び—発想の転換」（岩野雅子）
- ・ 「生命と生活の質特論への応用、研究法改善の方向性」（吉村耕一・ウィルソンA・長谷川真司）
- ・ 次回FDに向けて終わりの挨拶（山口 光）

大学院FDは、大学院教員の資質向上を目的に開催するものです。  
新型コロナウイルスで「社会の時計が20年進んだ」といわれている今、  
本学大学院の次の姿について様々な意見を交換したいと思います。

～大学院運営会議～